



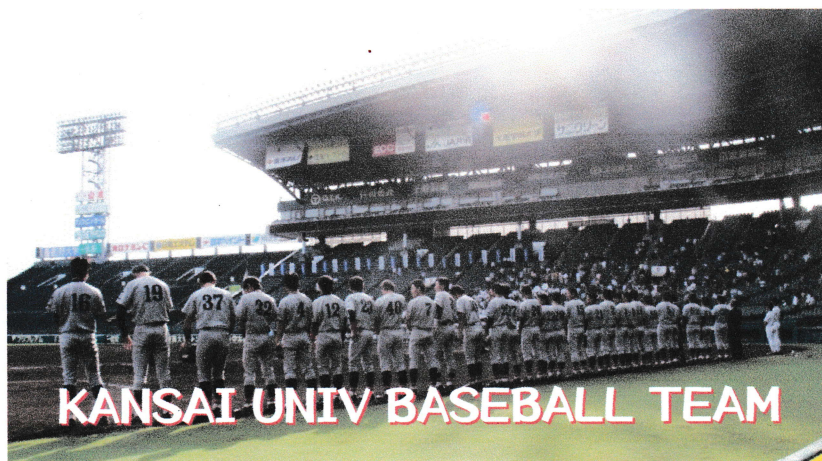
関西大学
体育会野球部

奪首×Dash! 第22号

2015. 7

TOPICS

- ・春季リーグ戦結果
- ・リーグ戦の裏側特集
- ・春季新人戦
- ・5 リーグ対抗戦
- ・総合関関戦
- ・編集後記



KANSAI UNIV BASEBALL TEAM

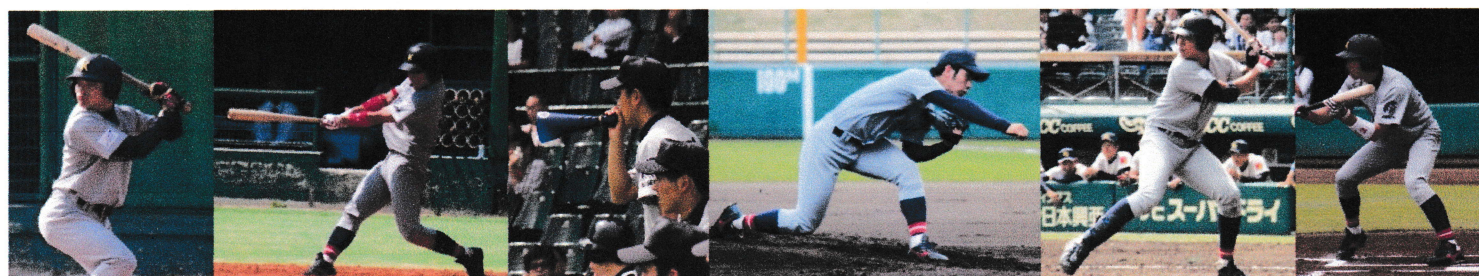
春季リーグ戦結果報告 温かいご声援ありがとうございました!

順位		立 命	近 大	関 大	関 学	同 大	京 大	勝	敗	分	勝点
1	立命	●●●●● ○2-0 ●0-2 ●1-6	●0-2 ○2-0 ○6-1	●2-3 ○7-1 ○4-0	○3-2 ●2-3 ○6-0	○5-1 ●1-2 ○15-1	○11-1 ○5-0	10	4	0	5
2	近大	○2-0 ●0-2 ●1-6	●●●●●	○4-2 ○9-5	○10-7 ○7-5	○3-2 ●4-6 ○5-3	○2-1 ○4-0	9	3	0	4
3	関大	○3-2 ●1-7 ●0-4	●2-4 ●5-9	●●●●●	○5-0 △0-0 ●0-1 ○6-2	●1-3 ○4-3 ○3-1	○5-1 ○4-0	7	6	1	3
4	関学	●2-3 ○3-2 ●0-6	●7-10 ●5-7	●0-5 △0-0 ○1-0 ●2-6	●●●●●	○8-2 ○3-2	○9-0 ○17-0	6	6	1	2
5	同大	●1-5 ○2-1 ●1-15	●2-3 ○6-4 ●3-5	○3-1 ○3-4 ●1-3	●2-8 ●2-3	●●●●●	○2-0 ●6-7 ○11-4	5	9	0	1
6	京大	●1-11 ●0-5	●1-2 ●0-4	●1-5 ●0-4	●0-9 ●0-17	●0-2 ○7-6 ●4-11	●●●●●	1	10	0	0

42年ぶりの出場となった明治神宮野球大会から半年が経ち、4月4日(土)に春季リーグ戦が開幕しました。選手宣誓を務めた主将・石丸(経4・東福岡)は「自分たちの実力で熱い気持ちを持って戦い抜く」という内容で、清々しく宣誓を行いました。

第1節の京大戦では石田光(経4・近江)、吉川(文3・関大北陽)の好投で2連勝し、幸先の良いスタートを切ることができました。同大戦は3戦目まで戦い、苦しい展開になる試合もありましたが勝ち点を奪います。しかし、近大戦、立命戦では打線が奮起することなく勝ち点を落とす結果となってしまいました。関関戦では延長引き分け試合を含め4戦目までもつれ込む接戦となり、苦戦を強いられましたが、勝ち点を挙げることができました。

春季リーグ戦は石田がリーグトップとなる5勝を挙げ、エースとして、また副主将としてチームを引っ張り、7勝6敗1分勝ち点3の第3位となりました。2015年スローガン「熱くなれ」を掲げ、絶対目標である「全国制覇」を達成するため、秋季リーグ戦も一丸となり、日々練習に取り組みます。これからも温かいご声援よろしくお願いします!



リーグ戦の裏側特集！

リーグ戦では、試合に出場している選手や監督、コーチ以外にも、縁の下の力持ちとなり裏方で活躍する部員がいます。そんなリーグ戦の裏側をご紹介します！



場内アナウンス・カウント・ボード操作は放送委員が行います。また、球場の清掃やチケット、パンフレットの販売も行っています。
写真：場内アナウンスをする
前田（人間4・若狭）



普段はチームの活動を支え、野球部の顔とも言える存在の主務。試合の際には、ベンチでスコアをつけ、監督、コーチ、選手に気を配り、チームを支え、勝利に導きます。
写真：ベンチでスコアをつける
鍋島（人間4・桃山学院）



連盟委員はリーグ戦開幕前から、パンフレットの作成や、試合会場となる各球場の調整などを行います。試合中には報道各社に送付する公式スコアをつけ、HPの速報の更新なども行っています。
写真：HPで使用する写真を撮る
大本（社4・関大一）



リーグ戦で応援に駆けつけてくれる応援団。元気が溢れ、迫力のある全力応援、そしておなじみの野球応援の曲でスタンド、ベンチを盛り上げてくれます。学歌や逍遙歌斉唱の際には指揮をとり、掛け声をかけ、リーグ戦にはなくてはならない存在です！

写真：右・応援団第93代団長 小山
左・リーダー部とチアリーダー部

ベンチの選手だけでなくスタンドにいる選手も一緒になって戦います。チアスティックやメガホン片手に、誰よりも熱い声援を送ります。選手の応援団長は4年生が務めることになっており、今年は三木が先頭に立ち、声を張り上げています。この大きな声によってグラウンドの選手たちは、力を発揮することができます。

写真：応援団長を務める三木（経4・大阪学芸）



秋季リーグ戦は、4年生にとっては最後のシーズンになります。今は、春季リーグ戦での悔しさを忘れず、常に上を目指して日々の練習に取り組んでいます。春季リーグ戦では選手宣誓という、非常に良い経験をさせていただきました。選手宣誓で述べたように「幸運には驕らず、悲運には屈さず熱い気持ちを持って戦い抜く」ということを秋こそは体現し、関大らしさを全面に出して戦い抜きたいと思っています。「熱くなれ」というスローガンの下、チーム一体となって戦いますので、温かいご声援をよろしくお願いします。

主将 石丸 亨（経4・東福岡）

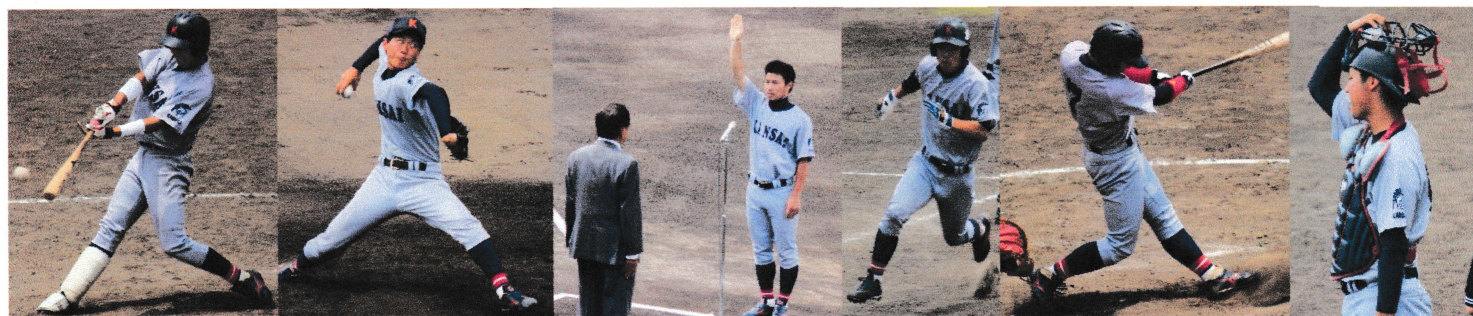
春季新人戦 ~追い上げ見せるも無念の惜敗~

昨秋の優勝に続き、連覇を目指して挑んだ新人戦！優勝校の代表として、新人戦主将・勝岡(人間2・報徳学園)が正々堂々と選手宣誓を行いました。

初戦の相手は、昨季の決勝戦でも対戦した関西学院大学ということもあり、選手たちも気合いを入れて試合に臨みました。

序盤、関学打線の勢いに押され、5回を終え8点差。苦しい展開となります。しかし、ここで試合を諦める関大ではありません。ここから反撃を開始します！6回、川瀬(社2・広陵)、田中(商2・高田商)らの適時打などで、3点を返すと、8回にも田中の中越適時二塁打、続く西田友(商1・福知山成美)の左前適時打で更に2点を追加します！そして3点差で迎えた9回。無死一、二塁から多田(人間1・明德義塾)が右越2点適時三塁打を放ち1点差とします。ベンチやスタンドの選手は逆転を信じて大きな声援を送りますが、最後の一本が出ず、7-8で悔しい敗戦となりました。試合には敗れたものの、1点差まで追い上げるなど、最後まで諦めない野球を見せてくれました。

初戦敗退という結果には終わりましたが、試合後のミーティングで選手たちが流した涙やチームとしての団結力を見ると、未来の関大野球部の柱となってくれることと思います。



5 リーグ対抗戦

6月27日(土)から6月29日(月)の3日間、わかさスタジアム京都にて関西オールスター5リーグ対抗戦が行われました。関大からは石田光と西田尚(人間4・東大阪大柏原)の2名が選出されました。

初戦の阪神大学野球連盟戦で西田尚は先発でフル出場。石田光は9回に登板し、打者3人を完璧に抑え2-1で勝利！関西学生野球連盟の勝利に貢献しました。

準決勝の京滋大学野球連盟戦では西田尚は長打を含めた4打数3安打、石田光は二死満塁の場面で登板し140kmを超えるストレートで打者を圧倒します。関大選手の投打に渡る活躍で3-1で勝利を収めました。

決勝戦の対近畿学生野球連盟戦は、4-1で勝利し、関西学生野球連盟が2年連続8回目の優勝を決めました！

この優勝により、秋に関西5リーグの優勝校が集い、明治神宮大会出場をかけて行われる関西地区代表決定戦で関西学生野球連盟に属する大学がシード権を獲得しました。

昨年と同様、このシードという大きなチャンスを活かして、秋季リーグ戦で優勝し、関西地区代表決定戦を勝ち抜き、明治神宮野球大会への2年連続出場を目指します！



西田尚

石田光

第38回総合関関戦

今回で38回目となる伝統の一戦は6月13日(土)、関西学院大学第3フィールドにて行われました。今年の総合関関戦は、全員が一致団結し、つながりの力で勝利を勝ち取るという思いを込めた「轟」という文字をスローガンとし、関学に挑みました！

関大の先頭に立つのは、野球部所属で体育会本部長でもある高橋城(法4・姫路西)。誰にも負けない熱い思いで、関西大学体育会カイザーズを引っ張り、勝利へと導きます！

写真：関大を代表して

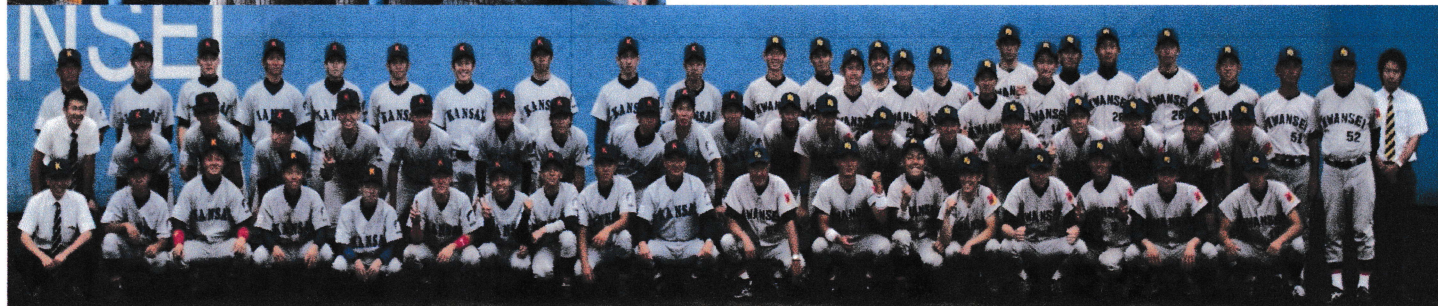
挨拶をする高橋城



白星を挙げ、総合優勝に貢献したい野球部は先発の江口(人間4・長崎南山)が痛恨の先制を許し、続く福田(人間3・興國)も四球と安打、また野手の失策も絡み2点を失います。関学に4点リードされるも、このまま終わる関大ではありません。4回の関大の攻撃は連打(総情4・奈良大附)の三塁打、柿山(人間4・岡山学芸館)の二塁打を含め打者一巡の猛攻で5点を奪い、見事逆転に成功します！

一方の守りでは4回からリリーフした水師(経3・大社)が7回まで無失点の完璧な投球を見せます。しかし、8回に連続安打と守備の乱れで失点すると、続く増村(商4・大分舞鶴)も関学打線につかまり、この回一挙5失点で再び逆転されてしまいます。その後の攻撃は三者凡退に抑えられ9-6で敗戦となりました。

第38回総合関関戦の総合成績は11勝20敗3分で関大は8連敗を喫し、通算16勝21敗という結果になりました。今回は悔しい敗戦となってしまいましたが、来年こそは関大の総合優勝に貢献できるよう、野球部が先頭に立って勝利を挙げたいと思います！



編集後記



今回の専首×Dash! 第22号はいかがでしたか？

春季リーグ戦や総合関関戦、5リーグ対抗戦を戦い終え、次は秋季リーグ戦を見据えて練習に取り組んでいます。

8月からは高槻グラウンドで練習を行います。オープン戦を通して、選手一人ひとりが成長し、更に上を目指してほしいと思います。

主将・石丸を先頭に、チーム一丸となって戦っていきます。

マネージャー 前田 理恵(人間4・若狭)